

(例の1)

(株) 猪谷工務店 環境行動計画

平成20年2月28日

取組方針

株式会社 猪谷工務店は、『日頃の小さな工夫の積み重ねが、大きな技術の改善につながる』ことをモットーに、顧客ニーズにあった建設業に於ける建築工事等の設計及び施工をしています。

また、当社の事業活動を進めていく中で、環境保全が重要課題の一つであることを認識し、地球環境との調和、地域社会との融和を図りながら進歩・発展していくことを目指していきます。このため、私たちは、事業活動に伴う環境への負荷を少なくするために、以下の取組を社員一丸となって推進します。

- ① 事業活動の中での省エネルギーと省資源（紙使用量の節減・節水）
- ② 製造部門、事務部門における廃棄物の削減
- ③ 5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の徹底

この方針に基づいて社員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

平成20年2月28日

株式会社 猪谷工務店

代表取締役 猪谷 勝行

3 環境負荷の低減目標	制定日	年 月 日	担当	社長												
	改定日	年 月 日														
<p>平成19年に向けての環境負荷の低減目標は、次の通りです。 (数値的な低減目標についての基準年度は、いずれも平成18年です。) (平成18年11月～平成19年10月)</p> <p>目標1 二酸化炭素の総排出量を売上高当たりkg-CO₂/百万円を5%削減する。</p> <table border="1"> <tr> <td> 基準年 (H18年11月～H19年10月) 排出量 330.1 kg-CO₂/百万円 </td> <td> 目標年 (H19年11月～H20年10月) 排出量(目標値) 313.6 kg-CO₂/百万円 </td> <td> 実績 (H19年11月～H20年10月) 排出量 kg-CO₂/百万円 増減 kg-CO₂/百万円 増減率 % </td> </tr> </table> <p>目標2 産業廃棄物の排出量を売上高当たりkg-CO₂/百万円を5%削減する。</p> <table border="1"> <tr> <td> 基準年 (H18年11月～H19年10月) 排出量 0.06 t/百万円 </td> <td> 目標年 (H19年11月～H20年10月) 排出量(目標値) 0.057 t/百万円 </td> <td> 実績 (H19年11月～H20年10月) 排出量 t/百万円 増減 t/百万円 増減率 % </td> </tr> </table> <p>目標3 コピー用紙の使用量を売上高当たりkg-CO₂/百万円を5%削減する。</p> <table border="1"> <tr> <td> 基準年 (H18年11月～H19年10月) 使用量 1.05 kg/百万円 </td> <td> 目標年 (H19年11月～H20年10月) 使用量 1.0 kg/百万円 </td> <td> 実績 (H19年11月～H20年10月) 使用量 kg/百万円 増減 kg/百万円 増減率 % </td> </tr> </table> <p>目標4 水使用量を売上高当たりkg-CO₂/百万円を5%削減する。</p> <table border="1"> <tr> <td> 基準年 (H18年11月～H19年10月) 使用量 17.8 ml/百万円 </td> <td> 目標年 (H19年11月～H20年10月) 使用量 16.9 ml/百万円 </td> <td> 実績 (H19年11月～H20年10月) 使用量 ml/百万円 増減 ml/百万円 増減率 % </td> </tr> </table>					基準年 (H18年11月～H19年10月) 排出量 330.1 kg-CO ₂ /百万円	目標年 (H19年11月～H20年10月) 排出量(目標値) 313.6 kg-CO ₂ /百万円	実績 (H19年11月～H20年10月) 排出量 kg-CO ₂ /百万円 増減 kg-CO ₂ /百万円 増減率 %	基準年 (H18年11月～H19年10月) 排出量 0.06 t/百万円	目標年 (H19年11月～H20年10月) 排出量(目標値) 0.057 t/百万円	実績 (H19年11月～H20年10月) 排出量 t/百万円 増減 t/百万円 増減率 %	基準年 (H18年11月～H19年10月) 使用量 1.05 kg/百万円	目標年 (H19年11月～H20年10月) 使用量 1.0 kg/百万円	実績 (H19年11月～H20年10月) 使用量 kg/百万円 増減 kg/百万円 増減率 %	基準年 (H18年11月～H19年10月) 使用量 17.8 ml/百万円	目標年 (H19年11月～H20年10月) 使用量 16.9 ml/百万円	実績 (H19年11月～H20年10月) 使用量 ml/百万円 増減 ml/百万円 増減率 %
基準年 (H18年11月～H19年10月) 排出量 330.1 kg-CO ₂ /百万円	目標年 (H19年11月～H20年10月) 排出量(目標値) 313.6 kg-CO ₂ /百万円	実績 (H19年11月～H20年10月) 排出量 kg-CO ₂ /百万円 増減 kg-CO ₂ /百万円 増減率 %														
基準年 (H18年11月～H19年10月) 排出量 0.06 t/百万円	目標年 (H19年11月～H20年10月) 排出量(目標値) 0.057 t/百万円	実績 (H19年11月～H20年10月) 排出量 t/百万円 増減 t/百万円 増減率 %														
基準年 (H18年11月～H19年10月) 使用量 1.05 kg/百万円	目標年 (H19年11月～H20年10月) 使用量 1.0 kg/百万円	実績 (H19年11月～H20年10月) 使用量 kg/百万円 増減 kg/百万円 増減率 %														
基準年 (H18年11月～H19年10月) 使用量 17.8 ml/百万円	目標年 (H19年11月～H20年10月) 使用量 16.9 ml/百万円	実績 (H19年11月～H20年10月) 使用量 ml/百万円 増減 ml/百万円 増減率 %														

(注) 実績の増減と増減率は自動計算です。

4 環境保全に向けた具体的な取組

制定日	年 月 日	担当	社長
改訂日	年 月 日		

取組 1

二酸化炭素排出量の削減

(工事部門での活動)

- ① 仮設計画、施工計画に従って、作業手順を決める時常に環境に配慮した工程管理を行うことにし、目標や基本方針を全員がよく理解し、作業ができるようにする
- ② 建築資材の置き場所、置き方、搬入時期を計画的に管理することで、加工機械の稼働効率を高める
- ③ 加工機械の点検、チェック、掃除、手入れを毎日作業後にキメ細かく実行することで作業効率を高める
- ④ 作業標準（時間研究、動作研究）の特性要因を工夫改善し標準化して、それを指導することで作業時間を短縮化、能率化して工数低減が図れる。このことで作業が正確でやりやすくなることから、作業時間も短くなり照明等の節電にもつながる
- ⑤ 工具、刃具、測定具（ゲージやメータ）の適正配備や、必要数をチェックして、歩留を更に一層向上させる
- ⑥ 太陽、雨水、風力、雪等の自然エネルギーをできるだけ取り入れることでCO₂の排出に貢献できる住宅をユーザーと共に更に研究する
- ⑦ 暖冷房にもっと効率のよい住宅ができぬか研究してみる（例：熱放散の少ない窓ガラスも研究してみる）
- ⑧ 省エネ型照明器具の採用検討
- ⑨ 内部監査を行い全社でCO₂削減に向けた目標をたてて進む

(事務・営業部門での取組)

- ① 空調設備の保守点検をこまめに行う
- ② 空調設備の適温化を明示し守るようになる（冷房28度程、暖房20度程）
- ③ 冬季以外は自然の通風をより多く利用することで、空調機の稼働をできるだけ押さえる
- ④ 事務所内の照明の適正化を図る
適正な蛍光灯・壁面・天井、屋光の活用や休憩時間で作業をしない時は、消すか減灯等こまめにする
- ⑤ 車両運転時のアイドリングの防止や効率の良いアクセル操作を行う（営業と工事部門）

4 環境保全に向けた具体的な取組

制定日

年 月 日

担当

社長

改訂日

年 月 日

取組 2

廃棄物の適正管理と排出量の削減

(産業廃棄物)

- ① 正確な分別と収集運搬・処理業者との適確な契約を図る
- ② 産業廃棄物管理票（建設系廃棄物マニフェスト）でゴミの運搬や処理のプロセスを管理する
- ③ 産業廃棄物の発生を極力少なくするための設計や作業手順、工程管理を常に頭に入れて作業を行う
- ④ 保管施設の管理
飛散、流失、囲い、保管状況、安全性等管理を行う
- ⑤ 紙、ダンボールのリサイクル化

(一般廃棄物)

- ① 日頃から紙屑（最も多い）、プラスチック類、金属、ガラスビン等を地域自治体に適した正しい分別方法で分別保管する
- ② 生ゴミはコンポストで肥料化する
- ③ 車、パソコン、家電製品は手入れをして、できるだけ長く使うようにする
- ④ 古本、古新聞等リサイクルに出すように努める

4 環境保全に向けた具体的な取組	制定日	年 月 日	担当	社長
	改訂日	年 月 日		
<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px 5px;">取組 3</div> コピー用紙使用量の削減				
(産業廃棄物)				
① コピーの必要度、必要枚数内容等をよく調べてからコピーする				
② できれば両面コピーを徹底する				
③ 電子データ化する (CDドライブモード変更スイッチ機能) 用紙の節約だけでなく災害への対応策となる				

4 環境保全に向けた具体的な取組	制定日	年 月 日	担当	社長
	改訂日	年 月 日		

取組 4 水使用量の削減

(産業廃棄物)

- ① 洗面器を置き、水を少し入れて、よく汚れを石鹸で落としてから手を洗うことで節水を図る
- ② 汚水を植栽等に利用する
- ③ 雨水や中水（汚水）を利用する住宅をユーザーと共に研究する
- ④ 節水型の洗濯機や水洗トイレを使う
- ⑤ 漏水がないか定期的に点検をする
- ⑥ 毎月水使用量を記録する
- ⑦ 水使用量の削減と同時に、水源地の山や川の浄化運動に積極的に参加することで、水（ブルーゴールド）資源の維持が長期に可能となる

4 環境保全に向けた具体的な取組

制定日

年 月 日

担当

社長

改訂日

年 月 日

取組 5

5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）徹底

当社の方針

5Sに真剣に取り込む事は、単にスローガンとして終わるのではなく、企業に次のような利点をもたらすことになるので、全員一丸となって取り組む必要がある。

- ① 安全衛生を高め、良好な作業環境を作る
- ② 作業能率を高め、企業の業績向上に大きくつながる

整理・整頓の当社の定義

整理・整頓とは、単に材料や工具、測定器をキレイに正しく並べたり置くことを指すのではない。

その日の作業の手順に合わせ、工程管理計画に従って、誰もが作業が安全に能率よく遂行できるように、材料や工具、測定器等を整理・整頓することを云う。

そして、当社にとって不要品、不良品は、ルールに従って廃棄処理することである。

(・) 整理

必要な物と不要な物を区分し、不要な物は職場から外すようにする

(・) 整頓

① 材料・仕掛品・製品

所定の置き場所に誰もが取り出しやすい方向、誰もが取り出しやすい置き方で保管する

工具が紛失していることが一目で分かるようにする

② 運搬路・通路・足場等を特に安全に確保すること

4 環境保全に向けた具体的な取組	制定日	年 月 日	担当	社長
	改訂日	年 月 日		

(・)(・) 清掃・清潔

- ① 安全を確保するため必要に応じ早くから清掃を行い、特に機械の周りや、高所作業の周囲等清掃と点検を行うようにする
- ② 運搬路、通路、足場の確保

(5) 躰（社会や会社のルールを守ること）

- ① 決められた作業服、靴、安全ヘルメット、手袋、ベルト等の着用
- ② 安全具の活用
- ③ 体調の維持に努める
- ④ 打合わせ会等を実施し、コミュニケーション向上を活発にする
- ⑤ 会社で決められたルールを守る